

# 議会報告誌

討議資料

藤沢市議会議員 宮戸みつる

平成26年 オリンピック  
アジアビーチゲームズ号

〒251-0028 藤沢市本鵠沼3-9-1-101  
TEL & FAX : 0466-35-4110  
E-mail : m.miyato@nifty.com



## 東京オリンピック・パラリンピックを 活用したまちづくり

《質問①》2020東京オリンピック・パラリンピックの際、高齢者にも活躍していただける場として、たとえば、観光地のガイドボランティアや高齢者による“おもてなし”の仕組みづくりを進めておくべきであると思いが見解は？

＜回答①＞議員ご提案の、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光ボランティアや事前キャンプ等でのおもてなしに当たっては、高齢者の皆さんの知識や経験を生かし、ご自身も楽しく元気に参加いただける取組を、市民協働組織として設置いたしました誘致・支援委員会とともに進めてまいりたいと考えております。

《質問②》次に、東京オリンピック・パラリンピックを一過性のイベントにしないスポーツアワードの創設について、特に、スポーツキャリア教育として、藤沢市内に居住やゆかりのあるアスリートによる小中学生に対するコーチングを施策として展開することについて、考え方を伺います？

＜回答②＞ジュニア期からトップアスリートの発掘、育成を図っていくことは重要であると考えております。今後のスポーツ施策の基本となる市内の小・中学校にトップアスリートを派遣する事業など、トップアスリートの活用を積極的に進め、実現に向け取り組んでまいりたいと考えております。

《質問③》次に、こうしたスポーツキャリア教育や健康増進活動に顕著な貢献を果たした機関や個人に対する表彰制度の設置の考え方について伺います？

＜回答③＞議員のご提案にありますとおり、スポーツの裾野を広げるために貢献された方々の表彰も含め、更に、幅を広げた表彰制度としてまいりたいと考えております。

《質問④》次に、市内には、スポーツで名声を博している選手やその道のトップアスリートが多く住まわれている。そこで、藤沢にゆかりのあるスポーツ選手に本市のスポーツ振興の一助としてその役割を担って頂くと言う、いわゆる、**スポーツ親善大使**とする取組が必要であるとするのが市の考えを伺います？

＜回答④＞今後、シティープロモーション、スポーツ振興等の幅広い視点から、既に活躍いただいている観光親善大使との役割の整理等を行いながら、藤沢にゆかりのあるスポーツ選手に、本市のスポーツ推進施策の顔として、その役割を担って頂くと言う、議員ご提案の『**スポーツ親善大使**』の取組について、様々な角度から前向きな検討を進めてまいりたいと考えております。



現在大活躍の、本市出身の全日本プロレス元3冠ヘビー級チャンピオンの  
諏訪魔選手と江の島マンが鈴木市長を表敬訪問

# 日本初、アジアビーチゲームズの誘致・開催を藤沢で! アジアオリンピック協議会主催の2年に1度のマリンスポーツの国際大会

平成26年(2014年)11月10日

ふじさわ市議会だよりNo.215

## 海岸部のエリアマネジメント

### 観光資源の有効活用や景観形成等を総合的に検討

### ビーチスポーツの国際大会誘致にも取り組む

宮戸 光

(自由松風会)

振興、観光振興、景観形成等を総合的に検討していく。

**質問** 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致やビーチサッカー等のビーチスポーツの発展のためには、参加選手や観客に魅力を感じてもらう必要がある。そこで、海岸の整備などにエリアマネジメントの視

点が必要と考えるが、見解を聞きたい。

**答弁** 昭和三十九年の東京五輪開催地として、また、日本ビーチバレー発祥の地としての歴史と文化をさらに発展させるためには、江の島、湘南海岸、鶴沼海岸エリアそれぞれについての取り組みが重要である。鶴沼海岸エリアについては、神奈川県と調整を図り、東京オリンピック・パラリンピック誘致の動向を捉えつつ、養浜対策や観光資源の有効活用も含め、スポーツ



小学生では全国初となる藤沢市ビーチサッカー大会より



本市のシティプロモーションに繋がり、各種ビーチスポーツや、マリンスポーツの振興と大きな経済効果をもたらすアジアビーチゲームズの誘致について、本会議で一般質問を致しました。

神奈川新聞 2014年(平成26年)9月23日 火曜日

## アジアビーチゲームズ 藤沢市が誘致表明 20年以降の開催目標

藤沢市の鈴木恒夫市長は22日、アジア地区のビーチスポーツの総合競技大会「アジアビーチゲームズ」の誘致に乗り出す方針を明らかにした。ビーチバレー国内発祥の地とされる鶴沼海岸をメイン会場に、東京五輪の行われる2020年以降の開催を目指す。市議会本会議で、宮戸光氏(自由松風会)の一般質問に答弁した。

東京五輪に向け、同市はビーチバレー競技の事前キャンプの誘致活動を推進。観客席などを備え、ビーチサッカーなどにも使用できる多目的の常設コートも鶴沼海岸に整備しよう県に要望している。これらの点を踏まえ、鈴木市長は「五輪・パラリンピックでの機運の高まりを将来につなげていくよう、20年以降のアジアビーチゲームズ誘致に取り組んでいきたい」と表明。大会規模が大きいことから、「相模湾沿岸の都市が連携して取り組むことが必要」との見解も示した。08年に始まった同大会は、アジアオリンピック評議会(OCA)の主催で2年に1度開催。今年11月にはタイのプーケットで第4回大会(24競技147種目)が行われる予定で、国内開催は実現すれば初めてになる。(高田 俊吾)